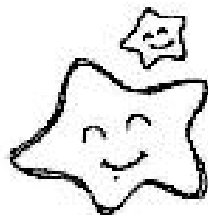


QSK にぬふあぶし

No.318

ね
子の方向の星(北極星)



おしらせ

『家族による家族学習会』 担当者養成研修

※『家族による家族学習会』の開催に必須の
担当者資格を取得できます。

あなたも
次は担当者!



【参加対象者】

- ① 『家族学習会セミナー』または『家族学習会』に参加経験のある方で、
『家族学習会』の実施を考えている家族会の方
- ② 各家族会で、すでに『家族学習会』を担当されている方
(①、②いずれの場合も、なるべく3名~5名程度でご参加ください)

【参加費】

・500円 (※『じょうずな対処 今日から明日へ』を
お持ちでない場合、テキスト代1,320円が別途必要になります)



2023年8月11日(金)

10:30~16:30(受付開始10時)

【会場】 てるしのワークセンター(南風原町字宮平206-1)

【お問い合わせ】(担当:仲本)

TEL. 098-889-4011

FAX. 098-888-5655

【主催】 公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会連合会

【共催】 公益社団法人 全国精神保健福祉会連合会

《沖縄市の文化財巡りを開始しました!》

沖縄市生涯学習出前講座から地域活動支援センター利用者の健康増進、地域の歴史を知る機会として、生涯学習の趣旨で沖縄市の文化財巡りを受講しました。



高原自治会

比屋根自治会

同講座では郷土博物館学芸員の専門的な案内により、5月は市内の高原地区、6月は比屋根地区の史跡を散策しました。地区内の細い路地や山道を1時間程、拝所や石碑を巡り心地良い汗をかきながら琉球の歴史に触れた1日でした。学芸員さんの熱心な説明に参加された皆さんも満足された様子でした。好評につき、今後も定期的に同講座を開催することになりました。

《心のバリアフリー作品展が始まります》

毎年恒例の沖縄市平和月間の賛同企画として支援センターおきなわでは心のバリアフリー作品展を開催いたします。7月28日から9月7日まで市内3カ所で作品展示を行います。展示場所と期間は下記の通りです。

沖縄市立図書館	7月28日(金)～8月10日(木)
沖縄市役所市民ギャラリー	8月14日(月)～8月18日(金)
沖縄市福祉文化プラザ	8月21日(月)～9月7日(木)



作品展に向けて只今準備中。多くのご応募がありました。

参加費
無料

ハピンちゅOKINA輪主催

私たちができること

～精神疾患の親を持つ子どもたちのために～

日時

9 / 3 日 10:00～12:00

(9:45～入室可能)

場所

オンライン開催 (zoomを活用)

対象

メンタルヘルスや精神疾患の親を持つ子どもに興味・関心がある方、若者・支援や教育に携わる方、沖縄の未来について考えたい方など、どなたでもご参加お待ちしております

申込みはこちら！

〈スケジュール〉

前半

ハピンちゅOKINA輪
学生メンバーによる講話

後半

グループワーク
(ディスカッション)



支援者も
大歓迎！

ハピンちゅOKINA輪について

2020年4月に「こどもびあ」の沖縄支部として、高校生が発起人となり立ち上げました。InstagramやFacebookは、随時活動情報をお届けしています！

OKINA輪

“理解したい” “寄り添いたい”
“助けになりたいけどどんなことができるんだろう？”

今回は、「支援」にプロットを当てたイベントを行います。「ヤングケアラー」という言葉が広がりつつある今、「専門職や支援者の立場ができることは何なのか」「身近に精神疾患の親を持つ子どもがいる」など、参加者の皆さんと共に考え、知識を共有する場にします。

お問い合わせ

申込締切

8月30日

(定員100名)

ハピンちゅOKINA輪(こどもびあ沖縄)

Mail: hapinchuokinawa@gmail.com

Tel:090-7397-9084(事務局:坂本将吏)





てるしのワークセンターとの出会いなど

沖福連監事 赤嶺睦夫

てるしのと出会って、もう10数年になるだろうか。

最初の関わりは、はじめての福祉の仕事であった就労移行支援事業所で働いていた頃だった。利用者の一人が、「介護の仕事に就きたい」と希望した。その想いに応えるため、ヘルパー養成訓練を障害者に提供している事業所を探したところ、てるしので行なっていることがわかった。そして、彼女は一所懸命訓練を受け、障害者雇用で介護補助の仕事に就くことができた。本人もちろん頑張ったが、てるしのの職員もとても頑張ったと思う。感謝である。

数年後、その就労移行支援事業所を辞め、沖縄県立職業能力開発校で「障害者の態様に応じた多様な委託訓練」、いわゆる「障害者委託訓練」を担当することになった。委託先を訪問し、訓練の状況を確認したりするのがメインの仕事だが、障害者のニーズに合った新しい訓練を考え、その訓練を実施する委託先の開拓も行なっていた。そこで思いついたのが、「てるしのがこれまで独自で実施していたヘルパー養成講座を、委託でお願いできないか」ということだった。早速てるしのを訪問し、話をした。結局、受託してもらうのに2年を要したが、その後も何年にも渡って開講してもらい、何人もの修了生が旅立っていった。そのうちの一部ではあれ、今も介護やその関係の現場で働いている修了生たちがいる。

その後、委託訓練の仕事を辞め、ジョブコーチとして別の事業所で働くことになったが、あいかわらずパンを買いに行ったり、おしゃべりをしたりするために、ちょこちょこてるしのを訪問。その時に、あるてるしの利用者さんが、スタッフのひとりを「たくや」と呼んでいたのが、こちらも「たくやさん」と呼んでいたのだが、「たくや」という名前は実はその利用者さんが付けた名前で、本名は別であることをだいぶ経ってから知り、驚愕したのは良い思い出である。

そのような関わりから、この度、沖福連の監事をお願いされた。どの程度できるのかはわからないが、お願いされたからには精一杯頑張ろう。

今後ともよろしくお願い致します。

赤嶺さんが経営する『カフェ・ルアナ』（豊見城市）では、福祉関係をはじめとするさまざまな講座の並ぶ“ルアナサロン”など、多職種のつどう催しがバラエティ豊かに企画されています。



研修報告「知的障がいのある方への支援について」

障がいのある方への就労支援を行なう『てるしのワークセンター』（南風原町）と『サポートセンターゆい』（うるま市）では、6月に合同で、知的障がいのある方への支援について学ぶ職員研修を行ないました。

参加者は両事業所を合わせて18名、講師には『育成福社会』の兼島総務課長を招いて、質疑応答なども含め、たっぷり2時間を超えてお話しいただきました。

今回の研修会の背景には、沖福連のサービス事業においても、精神疾患のある利用者さんだけでなく、特別支援学校の卒業生など知的障がいのある方のご利用ニーズが多くなってきたことがあります。

兼島さんの講義では、知的障がいに関する一般的な特性の解説とともに、その対応について、今日からでも支援に活用できそうな具体的なアドバイスの数々をうかがうことができました。

利用者さんをまずしっかりアセスメントしたうえで、それを職員間で確実に共有することの大切さ。そして、わかりやすく情報を伝える工夫＝“構造化”が必要であるということ。それでも、「10年かけて身についた行動が変わるには、同じく10年の時間がかかる」と言い、短視眼的な思考で一喜一憂することなく、根気強く粘り強く見守っていくことが支援のキモになるということ。

てるしのやゆいの職員からは予定の時間が過ぎても熱心な質問が続き、この日のテーマに対する関心の高さが実感できました。実のある時間を作っていたいただいた兼島さんには、職員一同、あらためて感謝の気持ちを申し上げたいと思います。



みんな
ねっと

第15回全国精神保健福祉家族大会

みんなねっと 埼玉大会

家族まかせにしない社会に

精神障害者への誤解・偏見を超えて、家族まかせにせず当事者・家族が当たり前で生きていける地域社会を目指し、具体的な実践を通して参加者と共に考える場としたい。

10月14日(土)～15日(日)

Rai Boc Hall(市民会館おおみや)

さいたま市大宮区大門町2-118大宮門街4-8F
(大宮駅東口下車・徒歩3分)



詳しくは↑から

主催:(公社)全国精神保健福祉会連合会(みんなねっと) 埼玉県精神障害者家族会連合会(のぞみ会)

参加お申し込みは原則『Peatix(ピーティックス)』で7月15日より受け付けます。

オンラインのみ参加で申し込まれた方には大会誌のデータを配信いたします。

お問い合わせ

埼家連 048-825-7172 (火～金 10:00～16:00)

【浦添社協さんより求人情報】



- ① コミュニティーソーシャルワーカー
- ② 相談支援員(生活困窮者自立相談支援事業)
- ③ 就労支援員(同上)
- ④ その他

※詳細は右のQRコードよりご確認ください



◎編集後記◎

国の定めにより、社用車を5台以上保有している職場では、運転する人を対象にアルコールチェックをしなければならなくなった。飲酒の習慣がない従業員もこれを行なう。それも車の運転前と運転後に行なって、記録をつけ、保管する。ということをお私たちの職場でもすでに始めていて、飲まない職員が1日に何度も機械に息を吹き付けている姿を見るにつけ「なにをやっているんだろう？」と思わないでもない。(ちなみに機械は職員人数分を購入して配りました)おそらくこれも、増え続ける“フルシットジョブ”(無意味で有害でさえある仕事)の輝かしい一例です。(増山)

編集:公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会連合会
会長 山田 圭吾
〒901-1104
沖縄県島尻郡南風原町字宮平 206-1
てるしのワークセンター内
電話 098-889-4011 FAX098-888-5655
E-mail terushino@castle.ocn.ne.jp
発行:九州障害者定期刊行物協会
〒812-0068
福岡市東区社領1丁目12番4号
電話 092-753-9722 FAX092-753-9723
定価:10円(会費に含まれる)